

「クラスター」をつくらないために

ブドウの房をイメージしてください。クラスターとは同じようなものの集団、群れ、という意味です。ブドウのようにぎゅうぎゅうに集まっていたらウイルスは簡単にうつってしまいますよね。



クラスターはどこにできる？

最初に確認されたクラスターは屋形船でした。ライブハウス、スポーツジム、カラオケ、繁華街の飲食店、職場の更衣室、医療機関など、人が集まる場所は、どこでもクラスターになり得ます。

佐久間は大丈夫？

家庭や地元地域での会合も要注意です。ざっくり言って、青壮年は移動の多い世代なので地域を越えた感染拡大を、中高年は地域内の交流の場が多いので地域内での感染拡大を、高齢者は施設内や病院内での感染拡大をもたらす恐れがあります。

家から出ないほうが良い？

屋外の活動は比較的安全なので天気の良い日は外で体を動かしましょう。散歩もお勧めです。ただし他人とは社会的距離（2m以上あける）を保ち、帰宅後はうがい、手洗いをお願いします。

どうしても集まる必要が…

マスクをしたうえで、換気（1時間2回）、少人数（10人以下）、社会的距離（2m以上）を徹底してください。更に、触るものはすべて接触感染の危険があります。筆記用具などは共用しない、ドアノブ、手すり、マイク、便器などは頻繁に拭いてください。



困った時の神だのみ？

佐久間病院長 三枝智宏

厚生労働省が新型コロナウイルス感染拡大阻止を訴えるロゴを作りました。症状が軽いとされる若者達が感染に気づかないまま拡げてしまわないよう啓発するためだそうです。

ここに描かれているのは今、若者の間で話題の「アマビエ」という妖怪です。江戸時代の熊本県に出現し「病が流行する。早く自分の姿を紙に写して人々に見せてくれ」と言ったとされています。困った時の神だのみという言葉がありましたね。

日本には古来「神風が吹く」という発想があります。鎌倉時代にモンゴルが来襲した時にピンチから救ってくれました。新型コロナでも神風は吹くのでしょうか。

太平洋戦争での神風特攻隊を見るまでもなく、単なる神だのみでは失敗します。私たちがやるべき事、守るべき事をきちんと行った上で、マスコットの「アマビエ」と共に新型コロナと戦いたいものです。

佐久間ネットワークあんじゃないネ通信

第2号
あんじゃないネ
事務局
☎965-1795

健康のために
自分でできること！
裏面をご覧ください

知らないうちに、拡めちゃうから。



STOP!
感染拡大
— COVID-19 —